

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1475000813
法人名	(株)愛誠会
事業所名	はなまるホーム宮前
訪問調査日	令和6年1月10日
評価確定日	令和6年5月30日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は23項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和5年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475500813	事業の開始年月日	平成17年4月1日	
		指定年月日	平成17年4月1日	
法人名	株式会社 愛誠会			
事業所名	はなまるホーム宮前			
所在地	(216-0002) 川崎市宮前区東有馬3-8-7			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	令和6年1月1日	評価結果 市町村受理日		

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・高い利用率 ・入院日数の少なさ ・毎日歩行や散歩の機会を提供している事
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和6年1月10日	評価機関 評価決定日	令和6年5月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>●この事業所は株式会社愛誠会の運営です。同社は「医療と介護の融和・連携」を掲げた、調剤薬局や医療モール開発事業を全国展開している「アイセイ薬局グループ」の介護事業を担っています。(株)愛誠会は、ディサービス、介護付き有料老人ホーム、都市型軽費老人ホーム、小規模多機能、グループホームなどの事業所を全国に展開しています。グループホームは、全国で28ヶ所、神奈川県内では3ヶ所の事業所を運営しています。ここ「はなまるホーム宮前」は東急田園都市線「鷺沼駅」からバスに乗り「下有馬」で下車して、徒歩2分程の閑静な住宅地の一角にあります。</p> <p>●介護業務内容の見直しなどにより、毎日の散歩が出来るように事業所全体で検討しています。天候の良い日には散歩や、買い物に出かける方、ウッドデッキで洗濯物を干しながら外気浴をする方などがいます。定期的なドライブでは、桜の花見や、バラ園、海ほたるへの遠出も提供しています。</p> <p>●入居時には事業所の協力医療機関の説明をして、本人や家族の希望する主治医を決めて頂いています。現在は、全員が協力医療機関の月2回の訪問診療を受診しています。協力医療機関は、内科・精神科・皮膚科・眼科が専門で、夜間等24Hのオンコール対応になっています。訪問診療時には、法人の薬剤師が同行して、早期に的確な薬の対応が来ています。職員の看護師が、週1回来て利用者の健康管理や、介護職員の相談に対応しています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	はなまるホーム宮前
ユニット名	1F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように
	○ 2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	心身の健康をテーマにケアに取り組んでおります。ボランティアの方々が多くいらっしゃいますし、地域のお祭りにも積極的に参加して入居者様にも参加頂いております。	法人の理念や社是の基に事業所理念を新規に「笑顔溢れる施設」を作成しています。企業理念や、社是とともに玄関に掲示し、毎日の朝・夕申し送り時に、唱和をして職員に周知し共有しています。朝の挨拶時や、散歩の外出時などには、利用者の溢れる笑顔を見ることが出来ています。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	盆踊り大会や町内運動会に出店しています。その過程で町内会の方々と話し合いをしておりコミュニケーションを密に取れている印象です。	町内会に加入し、運営推進会議には町内会長に参加していただき、町内の情報を得ています。今年度の町内盆踊り大会や、運動会には利用者と一緒に参加して一緒に踊ったり、地域の方との話合いで、ラムネなどの飲み物の出店を出し、近隣の方々や、小学生との交流を図っています。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出店する際に小学生の子供と交流を良くとるので、地域の方の高齢者や認知症に対する理解には貢献していると思う。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	街づくりの中での施設運営という意識で取り組んでいる。町内を活かし活かされる運営ができるよう推進会議で本音での話し合いができている印象で充実感もある。	運営推進会議は、コロナ禍で書面開催をしていましたが、昨年5月からは対面で開催しています。町内会長・民生委員・地域包括支援センター職員の参加で、2ヶ月に1度開催しています。会議では事業所の現状や行事、事故報告などを行い、参加者との質疑応答や意見を頂きサービス向上に活かしています。今回は参加者の提案により適正湿度保持のため加湿器を増設しています。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保護の方も多く、連絡を取る機会が自然と多くなっている。担当者の方が定期的に訪問され入居者様の状態確認をされている。	川崎市や宮前区からの情報や研修、講習会の案内はメールや郵便物で受け取っています。生活保護の方の受け入れを行い、区の担当者とは病院受診時など、電話で連絡を密に取っています。コロナ禍以前には、地域包括支援センターとの連携で、認知症サポーター講習や、認知症カフェなどでも協力関係を築いています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員のストレスを溜めないよう、有給年間12回に増やしたり、長期休暇を認めたり、残業がほぼ0等ホワイトな施設運営を心掛けている。職員間の挨拶の徹底等、気持ちよく働ける施設運営を心掛けている。研修も定期的実施している。	身体拘束委員会は3ヶ月に1回管理者と職員で開催し、話合いの内容を議事録にして全職員へ回覧しています。身体拘束に対しての指針や、マニュアルを整備し職員研修を年2回実施しています。家族との話し合いで、身体拘束の切迫性・非代替性・一時性を考慮して、介護度5の方のベッドからの転倒・骨折の回避のためベッド柵を使用した拘束を現在実施しています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待予防の研修も定期的実施している。自施設の職員が自分たちの声掛けや接し方に関して客観的に見られるよう、定期的に他施設研修の機会を設けている。	虐待の防止委員会を年2回管理者と職員で開催しています。虐待の防止についての指針やマニュアルを整備しています。本部では定期的に虐待防止の研修会を開催しており、事業所から代表1名が参加し、受講者は事業所で伝達講習を行っています。職員のストレスチェックを定期的実施しています。今後は自己点検シートによるチェックを実施する予定です。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自施設にも後見制度を利用して入居されていた方が複数いらっしゃいました。後見人の方と職員がお話する機会も多く、身近に感じられる存在だと思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約後にトラブルにならぬよう、可能な限り詳細にサービス内容やできることとできないこと等お伝えするよう心掛けている。また、困った際はいつでも連絡して頂けるような関係作りを意識して接するようにしている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にご家族様に連絡を入れさせて頂いており、その際に頂いたご要望をケア会議に上げさせて頂く形で反映させています。	入居契約時にサービスに関する苦情相談として、文章で説明しています。家族にはリーダーから定期的に電話連絡をし、利用者の状況説明をして家族の意見や要望を聴いています。意見や要望は、ケア会議で検討して運営に反映させています。面会に来られた家族には、日常の状況など動画を再生して観ていただくようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月施設の全体会議を開催し、施設の方針を伝えた上で、職員から広く意見を聞く場を設けています。	毎朝・夕の申し送りや、毎月開催のユニット会議、全体会議にて事業所の運営方針を伝え、職員から広く意見を聴いています。必要時のリーダー会議や毎月のエリア会議で、職員の意見、提案を検討し早期の事業所運営に反映させています。職員との個人面談を年3回実施して、体調・家庭状況・腰など身体状態の確認と、個人目標や自己評価についても話合っています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	度々の処遇改善で給与面は改善しています。また、当施設は残業は基本的になく、ホワイトな経営方針を貫いてきました。また、施設の利用率や入院の少なさを数値で全体会議でお伝えし客観的に当施設が優れていて我々のケアがうまくいっていることを共有しています。	毎月職員全員に「ケア改善シート」「コミュニケーションアンケート」「ヒヤリハット報告」の提出を促し、職場環境の整備に努めています。提出書類は、各委員会で検討し、まとめ上げ職員へ回覧しています。業務改善により残業時間を減少させ、年次有給休暇の取得日数の増加を目指すなど、職員のやりがいにつなげています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他施設研修や本社で実施される研修に職員を送り出してきました。	本社では定期的に施設長研修、経験に応じた階層別研修を実施しています。研修に参加した受講者は、必要に応じて事業所内での伝達研修を実施しています。同法人の他施設へ毎月職員を送り出す研修を行っています。資格取得の支援制度があり、国の助成金制度と併せて利用しています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人ではありますが、3.4施設と定期的に職員を送り出し研修を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の笑顔を引き出す事が当施設の理念であり目標となっています。その為にヒヤリングの強化を行っています。職員のみならず、傾聴ボランティアを強化し、定期的に施設にお越し下さることでご要望を表現できる機会を増やしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前からご家族様の介助負担や介護負担に寄り添うことを意識しています。当施設に入らずとも介護保険サービスに関する情報を提供し、その上で入居となったならその延長線上でのサポートをしてゆくという姿勢で接しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	上記の通りで、地域の皆で支える意識か介護においては重要と考えております。その上で最適なサービスの選択をして頂くことがお互にとって大切になってくると考えております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活リハビリを提供したり、入居者様同士でお話したりする馴染みの関係作りを努めており、横の繋がりがあることが当施設の特徴となっております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様にお越し頂き、入居者様のケアに関する事で面談させて頂くことがしばしばあります。ご家族様の声を反映させながらケアに活かしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人がお見えになり面会される機会があります。	コロナ禍ではオンラインでの面会でしたが、現在は対面で行っています。家族や友人の面会があり、家族と一緒に外出して食事をされる方、お墓参りに行かれる方、実家に帰られる方もいます。正月には外泊をする利用者の支援をしています。家族の協力で馴染みの美容院へ行く方もいます。YouTubeによる体操や、好みの歌手の歌番組を観るなどの支援も行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士がお話ししやすいような環境設定を席配置から職員の関わり方までよく議論しており、工夫しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居のお問合せ頂いた方もそうですし、退去された方でも、ご本人様やご家族様がお困りにならないよう、連絡を取り、不安に感じることやお困りな事のヒアリングを行っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	基本的にご入居者様のご要望を多く叶えられるように努めており、例えばお食事に関しては何を召し上がりたいかのヒアリングを毎日していたりします。ご希望のお食事を生活リハビリを兼ねて一緒に料理するということをしております。	入居前面談は自宅や施設に訪問するか事業所に来ていただき、今までの生活歴・既往歴・趣味・嗜好等と、これからの暮らし方の希望など聴き取りアセスメントシートを作成しています。入居後は職員全員で情報の把握に努め、新たな気付きや変化を介護ソフトに入力して職員間で共有しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に、ご自宅で使用されていた家具や大切な物品を居室に持参頂いております。そのようにすることで、在宅で生活された環境に近い形で入居後の生活を送って頂くことができます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日申し送りの中で簡単なカンファレンスを行い、バイタル測定を含めた状況確認とケアの方向性に関する話し合いをして実行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを基にして、カンファレンスを行い、それを介護計画の中に盛り込むようにしております。	毎月のユニット会議にて利用者全員分と、変化の有った利用者については、より詳細にアセスメントを実施して、ケアの課題や支援方法について検討しています。モニタリングは、計画作成担当者・薬剤師・リーダー又は職員で3ヶ月に1回実施し、介護計画の更新は6ヶ月毎に実施しています。家族への説明は、事業所に来所していただいた際、もしくは電話で説明後に介護計画書を郵送しています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入居者様の普段のご様子を出来る限り細かく記入するようにしています。その内容を振り返ることでケアに活かすようにしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様に喜んで頂く、或いはお困りごとを解消することが求められているところと存じます。 よくヒアリングを行い、できることを同じ目線に立ち共に考えるという姿勢が大切かと存じます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアが沢山いらっしゃる施設です。傾聴ボランティアや地域の高校生のボランティア等、入居者様の生活が少しでも豊かになるよう交流の機会を増やす工夫を地域資源を活かしながらしております。			
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お薬の変更等がある場合はご家族様にご相談し、医療、介護、ご家族様の3者で納得がいつているかを確認しながら、進めて参ります。	入居時に事業所の協力医療機関の説明をして、本人・家族の希望する主治医を決めていただいています。現在は、全員が協力医療機関の月2回の訪問診療を受診しています。協力医療機関は、内科・精神科・皮膚科・眼科が専門で、夜間等24Hのオンコール対応になっています。訪問診療時は、法人の薬剤師が同行して早期に的確な薬の対応が出来ます。職員の看護師が週1回来て、健康管理や職員の相談に対応しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご高齢者は排泄に関してお困りになることが多々あります。介護職員はそのような内容を中心に、医療に関する内容を看護師に相談しながら共にケアや処置に介入して頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	まず、入院が極力ないように予防しております。この1年間ほぼ入院はありませんでした。そのような中で仮に入院が発生した場合は、状態を把握し、医療的措置が必要な状態かを判断しながら、適切なタイミングでの退院となるよう医療機関に呼びかけます。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様、医療機関、看護師、介護士が皆納得できるような対応ができるよう、話し合いや議論をしっかりと行ってゆくことが重要なのではないかと考えます。	入居契約時に、重度化した場合における方針の説明を行い同意書を交わし、同時に延命治療の有無についても確認しています。重度化が見られた場合は医師、看護師、家族、管理者での話し合いを重ね、事業所で出来ること、出来ないことを説明し、今後の方針を共有して支援を行っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のフローチャートを作成しており、急変があった場合はその場にいる職員が対応できるようにしております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行っており、様々な災害が想定されますが、それぞれどのようにリスクに対して対応すればよいのかを共有するようしております。	防災訓練を年2回、夜間想定での避難訓練を利用者も参加して実施しています。災害対策委員による備蓄品の管理を行い、ヘルメット、ランタン、ガスコンロなどと、食料は水、アルファ米、缶詰、豆、ヒジキなど用意しています。地域のとの協力体制は、運営推進会議にて話合っていく予定です。BCPへの対応は、本部にて書類等作成しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	挨拶接遇委員会という独自の委員会を設けており、その中で入居者様に対するお声がけが適切か。お声がけする際の姿勢に問題はないか。を日々話し合っております。	入職時は新人オリエンテーション資料にて接遇・マナーなどについて説明しています。挨拶接遇委員会では、利用者に対する声かけが適切か、声かけする際の姿勢に問題はないかなど話し合っております。毎月職員全員にコミュニケーションアンケートの提出を促し、日々のケア方法に課題がないか確認しています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お食事の際に、ご希望を伺い反映させているなど、可能な限りご本人の尊厳を重んじて、ケアに反映させられるようにヒアリングする機会を増やしております。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様との対話を大切にしておりますので、ご本人様からのご要望や、反応が良さそうな取り組みがないか観察しながら共に生活するというイメージで取り組んでおります。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日同じ服装になっていないように注意しながら、季節感やその日の気候にあった服装になるよう心掛けております。			
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリとして、家事に関連する行為は絶対の機会となりますので、ご入居者様の残存能力の活用を意識しながら、尊厳を一方で尊重し、機会を提供するようにしています。	食材はネットスーパーで購入し、不足分は近所のスーパーへ利用者と一緒に買い物に行っています。メニューは、利用者の希望を取り入れて、その日に決めています。調理は職員が行いますが、下拵え、盛り付け、食器洗い・拭きなど出来ることに取り組んでいただき、残存能力の維持につなげています。定期的に法人の管理栄養士による食事の分析を依頼して、栄養バランスの確認をしています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	検食担当が調理した食事の量や品目数だけでなく、色どりや味加減まで細かくチェックしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立での口腔ケアの機会を確保しつつ、介助が必要な場合は残存能力を活かす機会を大切にしながらサポートに入ります。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失敗したからといってすぐに排泄用具に頼るのではなく、残存能力を活かせるよう、失敗しないようなサポートや、失敗したとしても傷つかないような心理的なサポートが必要だと考えます。	利用者全員の排泄を記録して、一人ひとりの排泄状況を把握しています。自立度の高い方が多く、約1/3の利用者は普通の下着を使用して自分でトイレに行っています。排泄周期の安定化や、便秘予防のために、毎日の水分量の確認や、食物繊維の豊富な食材の提供、歩行ケアの促進など支援しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が豊富なバナナやさつまいもが毎日の食事かに入ってくるようになってきました。また、平均の水分摂取量は1900CC程。蠕動運動を促す為の歩行ケアにも積極的な施設です。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個人個人お好きな時間帯や、入浴に入りたい日、入りたくない日と気分もあります。それに対して職員は柔軟に入浴日や時間を調整して対応しております。	入浴は、週2回を基本に午後に行っていますが、入浴日は本人の希望を尊重し、確認して入浴したくないときは翌日に変更する等、柔軟に対応しています。入浴前には、バイタルチェックと本人の様子を確認して入浴し、水分補給や保湿クリームの塗布など忘れずに実施しています。足腰の不自由な方の2人介助や、同性介助を希望する方への支援など実施しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	施設全体の大まかな流れとして、健康的な生活リズムを作る為に基本的に午前中に運動や散歩などを楽しんで頂き、夕方以降お昼寝やリラックスした時間がとれ、夜間の快眠に繋げるようなスケジュールはあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人一人に対して、担当のかかりつけ薬剤師がいます。薬剤師は担当の方に対してヒアリングを行ったり、介護職員に対して薬に関する指導や注意事項の説明を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様毎の思いでや残存能力、思いはそれぞれなので、各々に合わせて生活リハビリの中で能力を発揮して頂きながら楽しんで頂いたり、傾聴ボランティアの方を中心に昔話に花を咲かせて頂く中で、昔を思い出し懐かしむような機会を作ったりしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日外気浴や散歩をする機会の提供を施設全体で心掛けています。	業務内容の見直しなどにより、毎日の散歩が出来るように事業所全体で検討しています。天候の良い日には毎日の散歩や買い物に出かける方や、ウッドデッキで洗濯物を干しながら外気浴をする方などいます。定期的なドライブでは、桜の花見や、バラ園、海ほたるへの遠出も提供しています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持されている方もいらっしゃいます。ご希望に合わせて、また、お金に関するトラブルのないようにご家族様と話し合いながら対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望に合わせて、ご本人から電話を入れて頂く機会や、ご家族様から電話を入れて頂く機会を作るようにしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	20年設立から経ち、かなり皆さんの居宅に近い柔らかみのある雰囲気になってきていると思います。	リビングの天井は、吹き抜け構造になっており、自然の採光で明るく暖かくなっています。エアコンや、空気清浄機、加湿器等で居心地の良い共用空間づくりを行っています。壁面には、行事や四季を感じる飾り物を利用者と一緒に作り掲示しています。テレビにユーチューブを利用して、毎日の体操や利用者の好きな歌番組など流して、楽しんでいただけるように支援しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆様の居室が一人一部屋あるので、リラックスしたい時は居室に、一歩フロアにでると和気あいあいとして明るい雰囲気になっているので、ゆっくり過ごしたい時と皆で楽しめる時のメリハリが作れる空間となっております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居して頂いた際に、ご自宅からご本人のお好みの物を持参頂く事で、ご自宅と同じようなリラックスできるような雰囲気を作るようにしております。	居室にはエアコン、介護ベッド、洗面台、クローゼット、防災カーテンが備えられています。使い慣れた家具、調度品、テレビ、CDラジカセ、家族写真など好みの品々を持参して頂き、自宅と同じようにリラックスできる雰囲気を作る工夫をしています。職員が居室の掃除や、エアコンのフィルター掃除など行っています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活リハビリを取り組んで頂く事、回想法を活用したコミュニケーションなどを多く取り入れるようにしております。		

目 標 達 成 計 画

事業所 はなまるホーム宮前

作成日 令和6年1月10日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	より活気のある施設作り	心身共に健康的な生活を送って頂く事	事故予防、交流を増やす事	常時
3	14 19	より多くの方にケアに関わって頂けるのではないか	ボランティアや地域の方、ご家族様に更に積極的に関わって頂く運営	皆様のご要望を積極的に取り入れたい。	常時
2	12	介護職員が世の中で魅力的な仕事という認知となっていない事	介護職員としての働くことの魅力化を図る事	残業減、有給増、やりがいを感じて頂ける環境作り	常時

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	はなまるホーム宮前
ユニット名	2F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	心身の健康をテーマにケアに取り組んでおります。ボランティアの方々が多くいらっしゃいますし、地域のお祭りにも積極的に参加して入居者様にも参加頂いております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	盆踊り大会や町内運動会に出店しています。その過程で町内会の方々と話し合いをしておりコミュニケーションを密に取れている印象です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出店する際に小学生の子供と交流を良くとるので、地域の方の高齢者や認知症に対する理解には貢献していると思う。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	街づくりの中での施設運営という意識で取り組んでいる。町内を活かし活かされる運営ができるよう推進会議で本音での話し合いができている印象で充実感もある。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保護の方も多く、連絡を取る機会が自然と多くなっている。担当者の方が定期的に訪問され入居者様の状態確認をされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員のストレスを溜めないよう、有給年間12回に増やしたり、長期休暇を認めたり、残業がほぼ0等ホワイトな施設運営を心掛けている。職員間の挨拶の徹底等、気持ちよく働ける施設運営を心掛けている。研修も定期的実施している。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待予防の研修も定期的実施している。自施設の職員が自分たちの声掛けや接し方に関して客観的に見られるよう、定期的に他施設研修の機会を設けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自施設にも後見制度を利用して入居されていた方が複数人いらっしゃいました。後見人の方と職員がお話する機会も多く、身近に感じられる存在だと思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約後にトラブルにならぬよう、可能な限り詳細にサービス内容やできることとできないこと等お伝えするよう心掛けている。また、困った際はいつでも連絡して頂けるような関係作りを意識して接するようにしている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にご家族様に連絡を入れさせて頂いており、その際に頂いたご要望をケア会議に上げさせて頂く形で反映させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月施設の全体会議を開催し、施設の方針を伝えた上で、職員から広く意見を聞く場を設けています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	度々の処遇改善で給与面は改善しています。また、当施設は残業は基本的になく、ホワイトな経営方針を貫いてきました。また、施設の利用率や入院の少なさを数値で全体会議でお伝えし客観的に当施設が優れていて我々のケアがうまくいっていることを共有しています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他施設研修や本社で実施される研修に職員を送り出してきました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人ではありませんが、3.4施設と定期的に職員を送り出し研修を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の笑顔を引き出す事が当施設の理念であり目標となっています。その為にヒヤリングの強化を行っています。職員のみならず、傾聴ボランティアを強化し、定期的に施設にお越し下さることでご要望を表現できる機会を増やしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前からご家族様の介助負担や介護負担に寄り添うことを意識しています。当施設に入らずとも介護保険サービスに関する情報を提供し、その上で入居となったならその延長線上でのサポートをしてゆくという姿勢で接しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	上記の通りで、地域の皆で支える意識か介護においては重要と考えております。その上で最適なサービスの選択をして頂くことがお互いにとって大切になってくると考えております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活リハビリを提供したり、入居者様同士でお話したりする馴染みの関係作りを努めており、横の繋がりがあることが当施設の特徴となっております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様にお越し頂き、入居者様のケアに関することで面談させて頂くことがしばしばあります。ご家族様の声を反映させながらケアに活かしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人がお見えになり面会される機会があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士がお話ししやすいような環境設定を席配置から職員の関わり方までよく議論しており、工夫しております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居のお問合せ頂いた方もそうですし、退去された方でも、ご本人様やご家族様がお困りにならないよう、連絡を取り、不安に感じることやお困りな事のヒアリングを行っています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	基本的にご入居者様のご要望を多く叶えられるように努めており、例えばお食事に関しては何を召し上がりたいかのヒアリングを毎日していたりします。ご希望のお食事を生活リハビリを兼ねて一緒に料理するということをしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に、ご自宅で使用されていた家具や大切な物品を居室に持参頂いております。そのようにすることで、在宅で生活されてた環境に近い形で入居後の生活を送って頂くことができます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日申し送りの中で簡単なカンファレンスを行い、バイタル測定を含めた状況確認とケアの方向性に関する話し合いをして実行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを基にして、カンファレンスを行い、それを介護計画の中に盛り込むようにしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入居者様の普段の様子を出来る限り細かく記入するようにしています。その内容を振り返ることでケアに活かすようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様に喜んで頂く、或いはお困りごとを解消することが求められているところと存じます。 よくヒアリングを行い、できることを同じ目線に立ち共に考えるという姿勢が大切かと存じます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアが沢山いらっしゃる施設です。傾聴ボランティアや地域の高校生のボランティア等、入居者様の生活が少しでも豊かになるよう交流の機会を増やす工夫を地域資源を活かしながらしております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お薬の変更等がある場合はご家族様にご相談し、医療、介護、ご家族様の3者で納得がいつているかを確認しながら、進めて参ります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご高齢者は排泄に関してお困りになることが多々あります。介護職員はそのような内容を中心に、医療に関する内容を看護師に相談しながら共にケアや処置に介入して頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	まず、入院が極力ないように予防しております。この1年間ほぼ入院はありませんでした。そのような中で仮に入院が発生した場合は、状態を把握し、医療的措置が必要な状態かを判断しながら、適切なタイミングでの退院となるよう医療機関に呼びかけます。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様、医療機関、看護師、介護士が皆納得できるような対応ができるよう、話し合いや議論をしっかりと行ってゆくことが重要なのではないかと考えます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のフローチャートを作成しており、急変があった場合はその場にいる職員が対応できるようにしております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行っており、様々な災害が想定されますが、それぞれどのようにリスクに対して対応すればよいのかを共有するようしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	挨拶接遇委員会という独自の委員会を設けており、その中で入居者様に対するお声がけが適切か。お声がけする際の姿勢に問題はないか。を日々話し合っております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お食事の際に、ご希望を伺い反映させているなど、可能な限りご本人の尊厳を重んじて、ケアに反映させられるようにヒアリングする機会を増やしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様との対話を大切にしておりますので、ご本人様からのご要望や、反応が良さそうな取り組みがないか観察しながら共に生活するというイメージで取り組んでおります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日同じ服装になっていないように注意しながら、季節感やその日の気候にあった服装になるよう心掛けております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリとして、家事に関連する行為は絶対の機会となりますので、ご入居者様の残存能力の活用を意識しながら、尊厳を一方で尊重し、機会を提供するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	検食担当が調理した食事の量や品目数だけでなく、色どりや味加減まで細かくチェックしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立での口腔ケアの機会を確保しつつ、介助が必要な場合は残存能力を活かす機会を大切にしながらサポートに入ります。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失敗したからといってすぐに排泄用具に頼るのではなく、残存能力を活かせるよう、失敗しないようなサポートや、失敗したとしても傷つかないような心理的なサポートが必要だと考えます。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が豊富なバナナやさつまいもが毎日どの食事かに入ってくるようになってきました。また、平均の水分摂取量は1900CC程。蠕動運動を促す為の歩行ケアにも積極的な施設です。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個人個人好きな時間帯や、入浴に入りたい日、入りたくない日と気分もあります。それに対して職員は柔軟に入浴日や時間を調整して対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	施設全体の大まかな流れとして、健康的な生活リズムを作る為に基本的に午前中に運動や散歩などを楽しんで頂き、夕方以降お昼寝やリラックスした時間がとれ、夜間の快眠に繋げるようなスケジュールはあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人一人に対して、担当のかかりつけ薬剤師がいます。薬剤師は担当の方に対してヒアリングを行ったり、介護職員に対して薬に関する指導や注意事項の説明を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様毎の思いでや残存能力、思いはそれぞれなので、各々に合わせて生活リハビリの中で能力を発揮して頂きながら楽しんで頂いたり、傾聴ボランティアの方を中心に昔話に花を咲かせて頂く中で、昔を思い出し懐かしむような機会を作ったりしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日外気浴や散歩をする機会の提供を施設全体で心掛けています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持されている方もいらっしゃいます。ご希望に合わせて、また、お金に関するトラブルのないようにご家族様と話し合いながら対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望に合わせて、ご本人から電話を入れて頂く機会や、ご家族様から電話を入れて頂く機会を作るようにしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	20年設立から経ち、かなり皆さんの居宅に近い柔らかみのある雰囲気になってきていると思います。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆様の居室が一人一部屋あるので、リラックスしたい時は居室に、一步フロアにでると和気あいあいとして明るい雰囲気になっているので、ゆっくり過ごしたい時と皆で楽しめる時のメリハリが作れる空間となっております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居して頂いた際に、ご自宅からご本人のお好みの物を持参頂く事で、ご自宅と同じようなリラックスできるような雰囲気を作るようにしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活リハビリを取り組んで頂く事、回想法を活用したコミュニケーションなどを多く取り入れるようにしております。		

目 標 達 成 計 画

事業所 はなまるホーム宮前

作成日 令和6年1月10日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	より活気のある施設作り	心身共に健康的な生活を送って頂く事	事故予防、交流を増やす事	常時
3	3	より多くの方にケアに関わって頂けるのではないか	ボランティアや地域の方、ご家族様に更に積極的に関わって頂く運営	皆様のご要望を積極的に取り入れたい。	常時
2	2	介護職員が世の中で魅力的な仕事という認知となっていない事	介護職員としての働くことの魅力化を図る事	残業減、有給増、やりがいを感じて頂ける環境作り	常時

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。